

第七回 阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会 議事要旨

日時：平成25年2月28日（木）

10:00～12:00

会場：本宮市役所 3F大会議室

（発言者） ●：委員 ○：事務局

(1) 規約改正

※質疑応答なし

(2) まちづくり懇談会のこれまでの経緯、(3) これまでの事業進捗状況と今後の予定

【国土交通省事業及び福島県・本宮市の関連事業の進捗状況を説明】

●治水事業と一体となったまちづくりへの提言書【H20.3策定】（以下「提言書」という）の策定過程で各「地区毎の意見を聴く会」が開催されているが、ここで出てきた意見というのはどのように事業に反映されているのでしょうか。

また、各地区で意見を聞いているのでしょうか。

○提言書の策定過程で頂いた意見は、提言書の内容に反映されており、また事業計画段階においては、各ゾーン毎に「勉強会」や「ワークショップ」を開催し、例えば、特殊堤防の修景としてこちらから格子柵やスリットによる陰影を付けることなどを提案させていただき、これに対し意見を頂くことで計画に反映しています。

●計画されている特殊堤防の高さは、どのようにして決めたのですか。

○河川側を歩道として利用するため、転落防止柵の基準をもとに高さ1m10cmとしています。

●従来の特殊堤の階段部分は、扉だったのですが、今後は変更されるのですか。

○今までは、陸閘と呼んでいる扉が付いていました。陸閘は、洪水の時に人がそこに行つて扉を閉める必要があったので、計画では扉の開閉の必要ない「乗り越し階段」にしました。

また、縁に手すりを設けてほしいという意見があり、手すりを設置する計画となっています。

さらに、Aゾーンでは、階段を花火のときなどに観覧席として利用したいとの要望があり、広い構造で計画しています。

●Cゾーンの河川に下りる坂路について、自動車などが入れるような幅はありますか。

○この坂路は、河川管理用坂路として車輛も入れる幅になります。

(4) Bゾーンの実施方針、(5) 今後の進め方

【Bゾーンの計画平面図（大判）にて計画内容を説明】

●安達橋と堤防の立体交差の部分については、今後どうなるのですか。

○現在は、安達橋の下を堤防が通る立体交差ですが、堤防整備後は、堤防天端と安達橋を同じ高さとし、平面交差にしたいと考えています。

また、今も散歩されている方が多いですが、何箇所か河川敷に降りるための階段を設け、水辺のそばも散策路として一連で整備する予定です。

●安達太良川の合流点には、堤防が低かったときには水門が設置されており、真っ直ぐ渡ることが出来ました。その後、堤防を阿武隈川と同じ高さに上げたときに水門がなくなりました。

昔のように、また真っ直ぐ通れるようにしてほしいという声はありますか。

○意見としてありますが、橋等の整備を行うことは、難しい状況です。

●堤防整備とまちづくりを一緒に行って良くなるというのはあまり例がないので、今後どのように整備して行くかということに興味があります。そういう意味では、地元と行政が一体になってやっていけるとすごく良くなると思います。

(6) 意見交換

●今回は左岸地区がテーマですが、この本宮を流れる阿武隈川というのは、本宮の貴重な財産だと思っています。その中で、堤防に桜並木があると実に良いと思います。

堤防が壊れるということで堤防への植栽は駄目ということになっていますが、高木地区（右岸地区）の方は、非常にスペースもあるので、桜のゾーンにできればという風に思います。ぜひ国の方でもアイデアを出していただければ大変ありがたいと思います。

それから水質について、水辺の楽校にしても水質が悪くなくては、川辺にいても臭いや蚊が発生するという状況も続いています。これは流域全体で考えて行かなければならない問題だと思いますが、水質改善についてもよろしくをお願いします。

●桜堤は、堤防の外側に水防用の備蓄土ということで盛土し、そこに桜を植えているわけですが、桜堤を整備するということになると、用地の問題とか水防資材の倉庫も他にあるということから、すぐに整備するといったことにはならないと思います。

●水質ですが、河川ではいわゆるBODで米のとぎ汁やパンくずなどによる汚濁しか見ていません。本来であれば、窒素とかリンも見て改善していかないとなかなか良くなりません。しかし、長い目で見ると日本の河川の水質は改善されており、一時期よりは良くなってきていることも事実です。水質改善は、沿川住民、流域全体の問題ですので、そういう流域全体でどうするかということも国交省で対応していますので、将来的には期待できると思います。

－以上－